

令和4年2月16日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。

oo

【 本 号 の 内 容 】

【施策情報】

☆「令和3年度 地域における気候変動適応実践セミナー 北海道地域（麦、野菜等）」参加者募集

☆「みどりの食料システム戦略」技術カタログ を作成しました！

☆有機 JAS の運用改善！より認証に取り組みやすく！

☆果樹に深刻な凍霜害が続いています！果樹共済に加入しましょう！

☆農研機構登録品種の自家用の栽培向け増殖の許諾申請の受付を開始しました！

☆令和4年度「『知』の集積による産学連携支援事業」の公募を開始しました！

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆「令和3年度 地域における気候変動適応実践セミナー 北海道地域（麦、野菜等）」参加者募集！

【大臣官房環境バイオマス政策課】

=====

農林水産業は気候変動の影響を受けやすく、近年、農産物の高温による生育障害や品質低下等が発生しており、北海道においても、小麦、ばれいしょなどの減収や品質低下が予測されています。

このため、気候変動への適応に関する最新の研究や、北海道における適応策の実践例をご紹介します、今後の対策について議論します。

オンラインにて全国どこからでも参加できますので、生産者並びに農協、自治体等関係者の皆様、ご参加をお待ちしています！

普及指導員の皆様におかれましては、農業関係者の皆様方にセミナーのご周知をお願いします。

▼詳細はこちら

○令和3年度地域における気候変動適応実践セミナー 北海道地域（麦・野菜等）の参加申込（2月25日（金曜日））

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/b_kankyo/0225tekiou.html

○地域における気候変動適応実践セミナー

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/climate/seminar/top.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 (担当：吉田、湯地)

(03-6744-2473)

=====

◆「みどりの食料システム戦略」技術カタログ を作成しました！

【大臣官房政策課技術政策室】

=====

食料・農林水産業の生産力向上と持続性を両立するための新たな政策方針として策定した「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、現場への普及が期待される技術を取りまとめた「みどりの食料システム戦略」技術カタログを作成しました。

本カタログでは、近年（直近10年程度）開発された技術で、「温室効果ガスの削減」「農薬・肥料の低減」「有機農業の推進」など、「みどりの食料システム戦略」で掲げた各目標の達成に貢献しうる、今後、現場に普及していくことが望まれる技術を幅広く紹介しています。技術・品種ごとに要点を1枚にまとめているので、ちょっと気になったところから気軽に読めるのがポイントで、詳しく知りたい方のために関連情報へのリンクも充実させています。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術カタログを活用していただくことで、生産現場でより持続性の高い農法への転換が進むことを期待しています。

▼詳細はこちら

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室 (担当：藤田、後藤)

(03-6744-0415)

=====

◆有機 JAS の運用改善！より認証に取り組みやすく！

【新事業・食品産業部食品製造課基準認証室】

=====

信頼性を確保しつつ、事業者の皆さまの負担を軽減して有機 JAS に取り組めるよう、

1. グループ認証におけるほ場のサンプリング調査の導入
2. 登録認証機関が有機 JAS 認証事業者に対して行う実地調査へのリモート調査の導入
3. 登録認証機関が有機 JAS で使用できる資材と判断した資材リストの農林水産省 HP への公表

の運用改善を行いました。

普及指導員の皆様におかれましては、このことを関係者の皆様にお知らせ願います。

▼詳細はこちら

○有機食品の検査認証制度

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki.html

※お問い合わせ先

農林水産省 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室

(担当：酒瀬川、大嶋) (03-6744-7139)

◆果樹に深刻な凍霜害が続いています！果樹共済に加入しましょう！

【経営局保険監理官】

去年は春先の凍霜害により、りんご、ぶどう、なし、もも、おうとう等の花芽の枯死が広範囲で発生しました。中には収穫皆無となった園地もあります。

温暖化により開花期が早まってきていることで、これまで凍霜害の被害がなかった地域でも、影響を受けるようになってきています。

発芽期の低温は、予防措置をしても被害を避けられない場合もあります。

だからこそその農業保険です。

春先から秋の収穫期までを補償期間とするりんご、ぶどう、なし、もも、おうとう等の果樹共済（短縮方式）の加入申込期限が迫ってきています（県や樹種によって差はありますが、概ね2月中・下旬までとなっています）。

令和4年産の果実の補償に係る加入は、これがラストチャンスです！

普及指導員の皆様におかれましては、果樹経営農家の皆様に対し、果樹共済・収入保険等の農業保険への加入を勧めていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

▼詳細はこちら

○農業共済組合等の相談窓口

<https://nosai-zenkokuren.or.jp/consultation.html>

○農業共済

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/nogyokyosai/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 保険監理官果樹班（担当：丸山、田崎）

(03-3502-8565)

◆農研機構登録品種の自家用の栽培向け増殖の許諾申請の受付を開始しました！

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

種苗法の一部改正に伴い、令和4年4月1日から農研機構が育成した登録品種及び出願中品種について、自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きが必要になります。

この度、許諾手続きが必要な品目（カンショ、イチゴ、バレイショ、茶、果樹）

について、2月7日から、申請受付が開始となりました。

申請については、下記の農研機構 HP 内の許諾申請フォームより受け付けております。

普及指導員の皆様におかれましては、このことについてご承知おきいただくとともに、農業者の皆様からご質問等がありましたら、下記問い合わせ先をご案内いたします。

▼詳細はこちら

- 農研機構育成の登録品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きについて（農業者向け）

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html>

- 許諾申請に関するお問い合わせ先

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/research>

担当：農研機構 知的財産部 育成者権管理課

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：本宮、加藤、門脇）（03-3502-7436）

◆令和4年度「『知』の集積による産学連携支援事業」の公募を開始しました！

【農林水産技術会議事務局研究推進課】

農林水産省では、「『知』の集積による産学連携支援事業」の令和4年度における公募を開始しました。

普及指導員の皆様におかれましては、ご関心の高い団体等に是非ご紹介をお願いいたします。

▼詳細はこちら

- 委託事業参加者の公募（その他）

<https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/sonota/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室

（担当：谷、松本）（03-6744-7044）

編集後記

本年も2月に入りました。昨年はこの時期、我が国でもコロナが猛威を振るい、緊急事態宣言が延長される中で、海外の一部の国では既にコロナワクチン接種が始まっていました。それから既に1年が経過しましたが、新型コロナは次から次へと新種に変異し、衰えることを知らないようです。

ところで、2月は厳しい冬と小さな春が共存し、春に向かって万物が動き始めるなど、何かしら明るい光がみえそうな月ですね。

このような中、2月4日から20日にかけて、第24回冬季オリンピックが北京

で開催されています。我が国からも多くの選手が参加・活躍し、明るい話題を提供してもらい、毎日、元気をもらっています。ガンバレ日本！

◎編集担当 Y◎



※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。